



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 イメージ情報開発株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3803 URL http://www.image-inf.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 代永 拓史
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 大谷 智尋 TEL 03(5217)7811
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	757	70.2	3	—	7	—	21	△82.6
2021年3月期第3四半期	445	△14.2	△17	—	△10	—	122	—

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 14百万円 (△85.9%) 2021年3月期第3四半期 101百万円 (331.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	10.58	—
2021年3月期第3四半期	60.79	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	876	361	41.2	173.67
2021年3月期	799	346	43.4	172.04

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 361百万円 2021年3月期 346百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	843	23.2	14	5.5	15	△30.0	34	△76.5	16.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規：一社（社名）一、除外：1社（社名）株式会社マーベラント

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	2,080,000株	2021年3月期	2,080,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	63,759株	2021年3月期	63,759株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	2,016,241株	2021年3月期3Q	2,016,241株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	6
(会計方針の変更)	6
(追加情報)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、厳しい状況が続く中、その「第5波」の収束により、景気に持ち直しの動きが見られました。しかしながら、先行きにつきましては、新たな新型コロナウイルスの変異株による感染増加、原材料価格の高騰、供給網の制約等により、極めて不透明な状況にあります。

当社グループの主要な事業領域である情報サービス業界においては、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたデジタルトランスフォーメーションによる新たな需要が継続的に活性化している一方で、業界全体の人材不足は顕在化した大きな課題となっております。

このような環境の中、当社グループは、お客様への継続的かつ安定的なサービスの提供に努め、ITソリューション分野では商品販売を含む大型案件を計画通りにシステム納入しました。また、昨年来、業務プロセス面でのQCD向上の取り組みを実施してきた結果、サービス品質が安定し、生産性の向上等の成果が継続して表れております。さらにBPO・サービス分野では重点顧客の深耕によるサービス提供増に加え、小売店・飲食店の業況持ち直しによる売上増がありました。

このような取り組みの結果、営業面につきましては、売上高は757,895千円（前年同期比70.2%増）となりました。利益面におきましては、売上高の増加による利益向上のほか、プロジェクト管理の見直しによる売上原価の低減と販管費の増加等により、営業利益は3,801千円（前年同期は営業損失17,429千円）、経常利益は7,258千円（前年同期は経常損失10,972千円）となりました。また、関係会社株式売却益等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は21,339千円（前年同期比83.0%減）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。売上高につきましては、外部顧客への売上高を表示しています。

[ITソリューション]

企業システムのコンサルティング及び設計、開発につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う営業活動が停滞したものの、既存取引先との運用及び保守の業務受託等については影響を最小限に止められました。また当第3四半期連結会計期間においては、商品販売を含む大型案件を計画通りにシステム納入しました。また、売上原価についても、プロジェクト管理の見直し等による売上原価の圧縮が効を奏した結果、売上高は666,372千円（前年同期比105.6%増）、セグメント利益は116,153千円（前年同期比72.0%増）となりました。

[BPO・サービス]

BPO（業務アウトソーシング）及び決済代行等各種サービスにつきましては、新型コロナウイルス感染症の「第5波」の収束にともなう小売店や飲食店の業績回復に伴う売上高増加により、当第3四半期会計期間においてはセグメント利益が黒字となりました。当第3四半期連結累計期間における売上高は48,839千円（前年同期比19.2%減）、セグメント利益は1,800千円（前年同期比89.2%減）となりました。

[その他]

メディカル&アンチエイジング事業（医療モールの運営管理）につきましては、株式会社マーベラントにて事業を運営しておりましたが、その全株式を2021年9月28日付で譲渡した結果、当第3四半期連結会計期間における売上高、セグメント利益の計上はありません。当第3四半期連結累計会計期間の売上高は42,682千円（前年同期比29.7%減）、セグメント利益は4,308千円（前年同期比25.4%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産の残高は773,346千円となり、前連結会計年度末に比べ102,770千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金で46,088千円増加、受取手形及び売掛金等で224,951千円増加した一方、前払金が164,052千円減少したことなどによりです。

固定資産の残高は103,038千円となり前連結会計年度末に比べ26,135千円減少いたしました。これは主に、投資有価証券の評価等により9,935千円減少したほか、第2四半期連結会計期間における株式会社マーベラントの連結除外等により敷金等で16,183千円減少したことなどによりです。

この結果、総資産の残高は876,384千円となり、前連結会計年度末に比べ76,634千円増加いたしました。

(負債)

流動負債の残高は200,085千円となり前連結会計年度末に比べ79,487千円増加いたしました。これは主に、買掛金の増加58,795千円及び未払法人税等の増加12,633千円などによりです。

固定負債の残高は315,064千円となり前連結会計年度末に比べ17,211千円減少いたしました。これは主に、退職給

付にかかる負債が12,137千円増加したほか、第2四半期連結会計期間末における株式会社マーベラントの連結除外等により、預り敷金保証金が25,890千円減少したことなどによります。

この結果、総負債の残高は515,149千円となり、前連結会計年度末に比べ62,276千円増加いたしました。

(純資産)

純資産の残高は361,234千円となり前連結会計年度末に比べ14,358千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金の増加21,339千円及びその他有価証券評価差額金の減少6,981千円によります。

この結果、自己資本比率は41.2% (前連結会計年度末43.4%) となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期の連結業績予想につきましては、2021年11月12日に公表いたしました業績予想値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	321,458	367,546
受取手形及び売掛金	144,716	371,031
仕掛品	328	2,438
貯蔵品	238	237
前払金	181,102	17,050
その他	22,732	15,042
流動資産合計	670,576	773,346
固定資産		
有形固定資産	-	400
投資その他の資産		
投資有価証券	94,975	85,040
繰延税金資産	2,621	2,204
その他	31,576	15,393
投資その他の資産合計	129,173	102,637
固定資産合計	129,173	103,038
資産合計	799,750	876,384
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,276	121,071
未払法人税等	1,455	14,088
賞与引当金	13,709	6,961
その他	43,157	57,963
流動負債合計	120,598	200,085
固定負債		
長期借入金	140,000	140,000
繰延税金負債	24,487	21,030
退職給付に係る負債	141,896	154,033
その他	25,890	-
固定負債合計	332,275	315,064
負債合計	452,873	515,149

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	301,000	301,000
資本剰余金	8,552	8,552
利益剰余金	35,845	57,184
自己株式	△54,005	△54,005
株主資本合計	291,391	312,731
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	55,484	48,503
その他の包括利益累計額合計	55,484	48,503
純資産合計	346,876	361,234
負債純資産合計	799,750	876,384

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	445,310	757,895
売上原価	361,439	635,632
売上総利益	83,871	122,262
販売費及び一般管理費	101,300	118,460
営業利益又は営業損失(△)	△17,429	3,801
営業外収益		
受取利息及び配当金	127	86
助成金収入	3,690	2,749
貸倒引当金戻入額	2,133	-
その他	1,005	2,414
営業外収益合計	6,957	5,250
営業外費用		
支払利息	167	1,748
その他	332	45
営業外費用合計	500	1,793
経常利益又は経常損失(△)	△10,972	7,258
特別利益		
投資有価証券売却益	138,132	-
関係会社株式売却益	-	40,592
特別利益合計	138,132	40,592
特別損失		
諸手数料	-	6,901
減損損失	1,079	4,730
特別損失合計	1,079	11,632
税金等調整前四半期純利益	126,079	36,218
法人税、住民税及び事業税	502	14,462
法人税等調整額	-	417
法人税等合計	502	14,879
四半期純利益	125,576	21,339
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	122,574	21,339
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,002	-
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,756	△6,981
その他の包括利益合計	△23,756	△6,981
四半期包括利益	101,820	14,357
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	98,817	14,357
非支配株主に係る四半期包括利益	3,002	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間において、株式会社マーベラントは、当社が保有する全株式を譲渡したことにより、子会社に該当しなくなったため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識関係基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いにしたがっておりますが、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に与える影響はありません。

収益認識会計基準等の適用により、第3四半期連結累計期間の売上高及び売上原価に与える影響は軽微であります。営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項および「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。